

ひとり親家庭に制服贈る

福井フェニックスRC 新高校生28人に

福井フェニックスロータリークラブ(RC)は、高校に入学するひとり親家庭の子七名と、制服を提供する。福井市のザ・グラン

子寡婦福祉連合会(同市)を通して希望を募り、県内の高校に進学する28人を対象に決めた。式では星野幸博会長が連合会の平等福祉会長に目録を手渡した。



高校に進学する生徒(右)のための制服贈呈目録を手渡す星野幸博会長(左)=19日、福井市のザ・グランユアーズフクイ

進学する生徒5人が出席し、RC会員と交流しながら入学後の目標を伝えた。ひとり親家庭の高校2年生が「先輩」として自身の学校生活を紹介し、「電車通学なので朝は早く、帰宅は夜になるけど、充実している。一日一日を楽しんで」とエールを送った。

(宮崎翔央)

ひとり親家庭に制服

福井フェニックスRC贈る

福井フェニックスロータリークラブ(RC)は十九日、創立三十四周年記念事業として、県内から高校に進学するひとり親家庭の生徒二十八人に制服を贈った。



平等福祉会長に目録を手渡す川上賢正(左)と星野幸博(右)＝ザ・グランユアーズフクイ

五組のひとり親家庭の親子を含む三十人が出席。同RCの星野幸博会長が「楽しい充実した高校生活を送られることを願います」とあいさつし、川上賢正三十四周年大会実行委員長が同福祉連合会の平等福祉会長に目録を手渡した。五月の同大会では、高校生たちが贈呈された制服を着用して披露する。

武生商工高二年生 高瀬愛佳さん(右)による発表「私の挑

戦」もあった。高瀬さんは、後の部活動が楽しみで、クラブ活動でクラリネットを「クラリネットは人生のパートナーのような存在。皆さん、かけがえのない存在。皆さん、かけがえのない存在。皆さん、かけがえのない存在。」と語りかけた。(松田士郎)